

# 災害ボランティア養成講座 を開催しました

10月29日（土）10：00～16：00まで金田分館において、福岡災害ネットワークの酒井澄彦氏、財津充則氏を講師としてお迎えし開催しました。この養成講座は福智町で災害が起こったときに、被災地で支援をおこなうボランティアの育成、また大規模災害が起きた時に立ち上げられる災害ボランティアセンターのボランティアスタッフの育成を目的におこなっています。また地域の防災リーダーとして活動できる人材育成も目的としています。

## 午前の部

「災害とはどういったものなのか」を日本でおこった災害や福智町の土砂崩壊、また福智町を通る福智山断層を例に説明いただきました。

また災害時には「自助」「共助」がとても重要であること、各地域・地区での自主防災組織が必要であることなどを話されました。



福岡災害ネットワーク代表 酒井澄彦氏



## 午後の部

大規模災害発生時に設置される災害ボランティアセンターの運営演習を行いました。災害ボランティアセンターが福智町に設置されると、全国からボランティアが福智町にかけつけてきます。そういったボランティアと支援が必要な被災者をつないでいくのが、ボランティアセンターの役割です。演習では参加者がセンターの運営スタッフ・ボランティア・被災者に分かれて、本番さながらの雰囲気の中で演習をおこないました。

←写真（上）はボランティアの受付をおこなっている様子。写真（下）はボランティアと被災者の要望（ニーズ）を結びつけているところの演習です。



福智町社会福祉協議会では、今後も災害ボランティアや地域の防災リーダーの育成を目的とした研修会をおこなっていきたいと考えています。災害ボランティアには、「清掃・片づけ」「物資の搬入や搬出」「炊き出し」「被災者の話し相手や情報収集」「子どもの遊び相手や託児」などいろいろなものがあります。今後は「災害ボランティア登録制度」をつくり、多くの方に登録を呼びかけたいと思います。どうぞ今後の養成講座にご参加ください。